

令和元年 12 月 09 日

令和元年度第 3 回作井技術委員会運営幹事会 議事録

作井技術委員会 事務局

開催日時: 令和元年 11 月 28 日(木) 15:30-17:30

開催場所: 国際石油開発帝石株式会社 本社 3203 会議室

出席者: 10 名

議題 1: 運営幹事・委員の交代について

- 運営幹事: 乗岡氏⇒黒田氏(石油資源開発)

議題 2: 令和元年度各活動報告

- 大水深分科会: 第 26 回実施(9/26@JDC)
 - テーマ: Drilling Contractor・Service Company 現状・掘削技術のデジタル化・新たな契約体制
 - 次回 12/18 実施予定@JDC、テーマ: 多目的作業船プロジェクト最新情報・石油開発業界の最近のニュース等)
- 若手技術者交流会: 第 9 回実施(9/12@JAPEX)
 - テーマ: デジタルトランスフォーメーション事例&ノウハウ紹介)
 - 次回 3 月頃、大水深分科会と合同で実施予定@INPEX、テーマ: しくじり先生ー失敗から学ぶ(仮題)
- HP 委員会: 令和元年度第 1 回実施報告(11/8@石油技術協会)
 - 技術協会員間の簡易コミュニケーション確立のため、協会 HP 上に掲示板機能追加を検討中
- 理事会報告: 協会賞選考委員選出
 - 作井技術委員会より 5 名を選定し、選考委員会に推薦

議題 3: 令和 2 年度 春季講演会について

- 概要報告: 場所、日程、個人講演投稿要領について報告
 - 作井部門シンポジウム方式・テーマの検討
 - 事務局提案通り、シンポジウム討論会方式として World Café 方式が第一候補となるが、発表件数やシンポジウムのテーマによっても変わるので次回の幹事会で再度検討することで合意。
 - 過去のシンポジウムテーマ、前回アンケート結果を参照し、来年度シンポジウムテーマ候補の絞り込みを行った。
 - ◇ 新技術(仕上げ技術、坑内可視化技術、省略化技術、セメンチング・泥水・OCTG 等)
 - ◇ 技術の変遷(過去に学ぶ教訓を含む)
 - ◇ 廃坑/廃山技術、老朽油田再開発技術
- 上記案を運営幹事の会社に持ち帰っていただき、年末までにテーマを決めることで合意

議題 4: 次回特別講演テーマ@次回作井委員会(2020 年 3 月)の検討

- 作井技術委員及び運営幹事から計 4 つの案が提案されたため、候補者に講演の可否を打診

することとした。

議題 5: 今後の事務局会社について

- 現状は 3 社 (JAPEX、JDC、INPEX) での持ち回りであるが、そこに 1 社加えて 4 社で運営を回したい旨事務局から提案。
- 次回は予定通り石油資源開発にお願いすることとし、その間に他の会社に打診することとした。

以上